

# 来年食品値上げ 200 品目超

## 2〜3月ピークか

帝国データバンクは一日、来年値上げを予定する食品が既に二千品目を超えたとの調査結果を発表した。急速な円安進行による輸入コスト増や、電気・ガス代の上昇などを吸収しきれず、価格転嫁に踏み切るケースは今後も増える見通し。年内の値上げ予定は

千品目以下と一服するものの、再び値上げの波が押し寄せる形で、家計の負担はさらに増加しそうだ。

帝国データバンクの担当者「コスト上昇圧力が解消される望みは当面薄く、来年二〜三月をピークに値上げラッシュが再来する可能性が高い」と分析している。

調査は株式会社を上場する主

要飲食料品メーカー百五社の十月末時点の動向をまとめた。十一月は八百三十三品目が値上げを予定。年内最多の六千六百九十九品目が値上げした十月の一割強の水準にとどまっており、年内の値上げラッシュは峠を越えた。

八百三十三品のうち分野別では、焼き肉のたれやだ

し製品といった調味料が三百二十八品目で最も多かった。乳製品が三百十八品目と続く。乳牛の餌となる飼料価格の高騰で生乳の取引価格が上がり、牛乳やヨーグルト、粉ミルクなどが一斉に価格改定する。十二月はゼリー類など百四十五品目の値上げが予定されている。